学際的なカリキュラムで女性学を学び、ジェンダー・リテラシーを獲得する

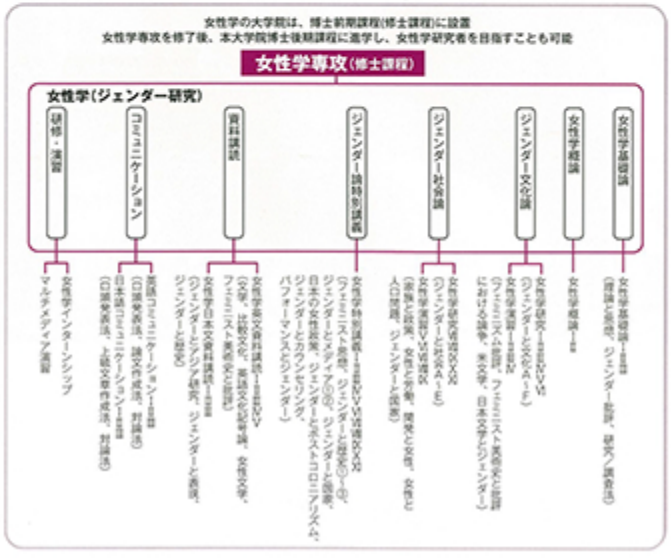
女性学とは

近代女性の権利拡張運動から始まったフェミニズムは、社会のさまざまな局面での「女性」「男性」のあり方に疑問を投げかけてきました。フェミニズムに端を発した女性学は、「ジェンダー視点」から幅広く既存の価値観を問い直す学際的研究領域として発展し続けています。

女性学を基礎から学ぶ

城西国際大学のジェンダー・女性学研究は、多彩な講師陣とカリキュラムによって研究指導を行っています。「基礎論」に始まり、「演習」、「英文日文資料講読」「国内・海外インターンシップ」、ワークショップ、学会発表などを通してジェンダー批評の能力や、学術会議における発言能力、国際組織運営の実務的能力を養うプログラムまでを含んでいます。

大学院に入って初めて「女性学」について学ぶという人にも分かりやすく、体系的なカリキュラムを組んでいます。



サポートシステム

本大学院は、女性学教育・研究のみならず、高度な職業人材育成にも重きを置いています。

女性リーダー育成奨励制度(水田宗子奨学金)は、拡大するグローバル社会で活躍できる女性リーダーの育成を目的として2006年に創設されました。奨励生は、本学海外提携校における女性学長を結ぶネットワーク(L-WIN)の支援を受けながら、研究活動に取り組むことができます。

3つのキャンパス

修士課程女性学専攻、博士後期課程比較ジェンダー論分野の学生は、東京・紀尾井町キャンパス、千葉・東金キャンパス、埼玉・城西大学坂戸キャンパスから通学キャンパスを選べます。東京キャンパスは交通の便も良く、国立国会図書館その他の公共研究機関にも足を運びやすい環境にあります。東金キャンパスは、女性学関連の蔵書が充実した水田記念図書館、大学院の研究を後方支援するジェンダー・女性学研究所、大学院生研究棟など、学生生活をサポートする機関が揃っています。3つのキャンパスで学生生活の可能性が広がります。

女性学専攻には、多くの社会人学生も在籍しています!

働きながらでも安心して通学

土曜日開講、社会人1年コース実施

但馬みほさん
城西国際大学人文科学研究科女性学専攻

異文化・社会経験を活かして JIU女性学で学びを深める

私は日本、アメリカ、ブラジルで生活した経験があり、長い社会人生活のあと一念発起しアメリカの大学で学位を取得しました。その後現地で大学院に進学しましたが、家庭の事情によりやむなく中退し、日本に帰国しました。しかし研究への熱冷めやらず、復学を決意。幸い城西国際大学(JIU)大学院人文科学研究科は年に2回受験のチャンスがあるので、時間を無駄にすることなく学究生活に戻ることができました。現在は女性学専攻で日本の近代文学をジェンダー批評の視点から研究しています。JIUでは女性学の第一線で活躍している指導教授のもと、国際的・学際的な知見を養うことができます。またJIUでは世界各国から多くの留学生が学んでおり、年齢、出身国、社会経験が多種多様な院生たちと、ともに触発し合い学べることが、JIU女性学の魅力であり大きな強みであると思います。

海外留学のチャンス

城西国際大学は海外100校以上の姉妹大学と学術協力交流協定を締結。そのネットワークを生かして交換留学など海外での研究活動を展開できます。また、海外研修プログラムも充実しており、アメリカ・ニューヨークの国連本部、中国の大連、中欧のハンガリーなど多彩な地域に学生たちは出かけ、フィールドワークに取り組んでいます。

学内イベントも充実

- 国際シンポジウムの開催
- ウィメンズ・カフェ
  ※学外の女性学講師を招いて、コーヒーを飲みながらフェミニズムの様々な課題について考えるワークショップを実施
- 映画上映会の実施
  ※女性学の課題を考える映画を上映
  一般にも開放し、女性学を通して地域との交流をはかる
- 女性学連続講座の実施
  ※本学女性学教員による学外一般社会人向けの連続講座
  女性学初心者にもわかりやすく体系的なテーマで講義を受講することが可能